

令和5年3月8日  
九州地方整備局

## 【 記 者 発 表 資 料 】

### 九州における林産品輸出拠点港湾の配置について議論します

令和5年3月13日、九州地方整備局は、港湾物流の効率化による九州の林産品輸出の更なる振興を通じた地域振興に資することを目的に、「第2回林産品輸出港湾のあり方に関する検討委員会」を開催します。

- 農林水産物・食品の輸出額を2030年までに5兆円（うち林産物1,660億円）とする目標が設定されたことを受け、産地が取り組む大ロット・高品質・効率的な輸出を後押しするため、国土交通省では、農林水産省と連携し、「特定農林水産物・食品輸出促進港湾」を支援する事業を実施しています。
- 我が国は、戦後造成された人工林資源が利用期を迎え、国産材の需要拡大が急務であり、新たな需要を創出することが求められます。国外においては、経済発展や人口増加を背景にした木材需要の増加が見込まれることから、このような需要に応えていくことも期待されます。
- 近年、我が国の木材輸出額は増加傾向にあり、原木輸出量の約8割は、志布志港をはじめ、九州地方の港湾が上位を占めています。九州地方において、産地と港湾の連携を促進し、港湾及びその近傍における輸出機能を強化することは、林産品の輸出拡大により、農林水産物・食品の輸出に関する政府目標に寄与すると考えられます。
- 林産品輸出港湾のあり方に関する検討委員会は、林業関係者や関連事業者等の広範な関係者からの意見を踏まえ、九州地方の港湾が果たすべき役割、林産品輸出港湾のあり方等を議論し、港湾物流の効率化を通じた九州地方の林産品輸出の更なる振興に資することを目的としています。令和4年12月26日に開催した第1回検討委員会では、林業関係者や関連事業者等の川上から川下までの広範な関係者からの意見を踏まえ、九州地方の港湾が果たすべき役割、林産品輸出港湾のあり方等を議論しました。

#### （第2回検討委員会の概要）

1. 日時：令和5年3月13日（月） 15:00～17:00
2. 場所：東福第2ビル101会議室（WEB併用）  
（住所）福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目9-5
3. 主な議事：「九州の林産品輸出港湾の配置のあり方等」の提案 ほか

#### （添付資料）

議事次第（別紙1）、検討委員会の構成員（別紙2）



〈その他〉

- ・ 会議は非公開としますが、報道関係者のみ冒頭挨拶まで傍聴及び撮影が可能です。取材ご希望の場合は、3月10日(金)15:00までに ([kitakyushueia-k89kj@mlit.go.jp](mailto:kitakyushueia-k89kj@mlit.go.jp)) までメールにて事前予約の上、当日は14:45までに会場へお越しください。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場ではマスクをご着用いただくとともに、来場者は各社原則1名とさせていただきます。
- ・ 検討委員会終了後のブリーフィングをご希望の方は、取材申込みメールにその旨記載願います。
- ・ 議事要旨は、後日、九州地方整備局ホームページに掲載予定です。

〈問い合わせ先〉

国土交通省 九州地方整備局

港湾空港部 港湾高度利用調整官 岩下 誠

TEL:092-418-3376 (直通)

(別紙1)

## 第2回 林産品輸出港湾のあり方に関する検討委員会

### 議事次第

#### 1. 開会

#### 2. 議事

- 1)「林産品輸出港湾のあり方に関する検討委員会」の設置について
- 2)第1回検討委員会におけるご意見、論点整理
- 3)第1回検討委員会後の調査結果の報告
- 4)「九州の林産品輸出港湾の配置のあり方等」の提案
- 5)意見交換

#### 3. 閉会

(別紙2)

林産品輸出港湾のあり方に関する検討委員会 構成員

(敬称略、順不同)

(学識経験者)

○竹林 幹雄 神戸大学大学院 海事科学研究科 教授  
藤掛 一郎 宮崎大学 農学部 教授

(関係団体)

井上 文利 宮崎・鹿児島県木材輸出戦略協議会 会長  
北橋 昌巳 住友林業フォレストサービス(株)営業本部長  
林 亮司 中国木材(株)日向工場 副部長

(行政関係者)

前迫 俊一 鹿児島県 環境林務部かごしま材振興課  
二見 茂 宮崎県 環境森林部みやざきスギ活用推進室  
小崎 ジュン 熊本県 農林水産部森林局林業振興課  
神鳥 浩明 大分県 農林水産部林産振興室  
假屋 眞治 志布志市役所 港湾商工課 課長

※ ○:委員長